

ともに
幸せな
未来を
描く

《事業内容》

- 行政・企業・地域団体・個人に対してのヘルスケアサービス業務
- 医療・保健に関する情報の収集・処理サービス及び情報提供サービス業務
- 医療・保健に関する営業、調査、マーケティングの支援
- 医療・保健に関する行政・企業・地域団体・個人に対しての研究調査業務
- 医療・保健関連人材の育成、能力開発のための教育及びコンサルティング業務
- 医療・保健関連人材に対する研修、セミナー、講演会、講習会等の各種催事の企画、立案、実施、運営及びそれらに関するコンサルティング業務 等



株式会社 Canvas

本社：島根県松江市北陵町1 テクノアークしまね内
TEL:080-9797-4582



<https://canvas.co.jp>



c i a e r u

次世代の健康経営「しあえる」

企業価値を高める
ウェルビーイング
イノベーション



法人会「健康経営大賞2022」受賞

全国組織の「法人会」が国の抱える問題の解決を目的として立ち上げたプロジェクトにおいて、株式会社きごり様における健康経営が部会員企業部門で最優秀賞を受賞しました。

3Goodの健康経営で 企業価値を次のフェーズへ



サービス開始2年で全国に広がっています。

c i a e r u

次世代の健康経営「しあえる」



サービス開始2年で全国の企業様に導入いただき、
令和5年4月現在で40を超える企業様で職場環境の適正化と
従業員の健康状態の改善などの成果が出ています。



法人会「健康経営大賞2022」受賞

全国組織の「法人会」が国の抱える問題の解決を目的として立ち上げたプロジェクトにおいて、株式会社きこり様における健康経営が部会員企業部門で最優秀賞を受賞しました。

事業モデルとして注目されています

《R3・4年島根県発ヘルスケアビジネス事業化補助金採択事業》

《MIXPoC(事業開発・検証サポート事業)採択事業》

《国立大学法人島根大学共同研究事業》



健康経営が必要な状況

II

何らかの健康を阻害する原因がある

職業病

根本的な解決へ 「最短」でアプローチ

わたしたちCanvasの健康経営のアプローチでは、作業療法士による腰痛などの「職業病」の分析と改善により、以前の課題であった事前予防と事後解消へとつなげます。

このアプローチにより、従業員の仕事への情熱や貢献度（エンゲージメント）を向上させます。さらに長期的なパフォーマンスや生産性の向上にもつながります。さらに、従業員の健康と幸福をサポートする企業は、就職希望者やステークホルダーからの評価も高まり、企業競争力を強化することができます。

《一般的な健康経営》

働き方改革

労働時間の削減

健康診断の実施

早期発見、健康管理、予防

ストレスチェック

カウンセリング、メンタルヘルスサポート

健康促進プログラム

運動プログラム、栄養指導など

職場環境の改善

デスクチェアの買い替えなど

社内コミュニケーション

人間関係の改善によるストレス軽減

健康経営における課題

△事後対応になりがち

△実施コストが大きい

+

根本的な解決が行われないと…

△取り組みへの真剣さの欠如

- ▶ 実施コストに対しての効果が薄い
- ▶ 取り組みへのストレス

△再発への不安

- ▶ モチベーション・生産性の低下
- ▶ エンゲージメントの低下
- ▶ 離職の要因

効果が薄いことを継続することで…

△企業の将来性への不安

- ▶ エンゲージメントの低下
- ▶ 離職の要因

CANVAS

職業病へのアプローチで 根本的に解決

○回避および慢性化、悪化の防止

○実施コストの圧縮

○期待感により、真剣に

- ▶ 実施コストの最大化

POINT
01

○発生、再発の回避

- ▶ モチベーション・生産性の向上
- ▶ エンゲージメントの上昇

POINT
02

○企業への関与感

- ▶ エンゲージメントの上昇
- ▶ リクルートの獲得

POINT
03

ウェルビーイングな
企業ブランディングで
企業価値が向上

POINT
01

痛みおよび悪化の予防

健康経営の効果を最大化

Ciaeruでは、「職業病（痛み）」という根本を見える化できます。原因が明確でないと「なんのためにやっているのか」「やる意味があるのか」という健康経営の施策に対しての疑問感、不信感が生まれます。逆に原因を明確にすることは予防や解消への期待感、安心感につながります。効果的な健康経営において、この期待感と安心感があることで、取り組みに対しての積極性が生まれ、より高い成果につながります。実際、導入いただいた企業様からも従業員の取り組み姿勢が変わったとお声も多くいただいています。

期待できる効果

積極性が高まれば
期待できる効果も高まる

積極性

POINT
02

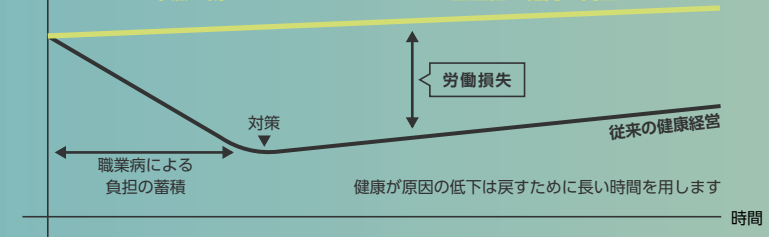
従業員の慢性的な痛みの解消

モチベーションと生産性を維持・向上する

労働における痛みの慢性化はモチベーションを著しく落とします。がんばり=痛みに置き換えられればおのずと生産性は落ちます。がんばりが純粋に本人のやりがいになることでモチベーションと生産性向上に期待できます。また、職業病の怖さには慢性化により体に生じる持続的なダメージがあります。ダメージは時に対策の効果を阻害します。リスクを未然に防ぐことは、事後対策と比べると効果が大きくなります。

モチベーション・生産性

リスクを未然に防ぐことでモチベーション・生産性の維持・向上ができる



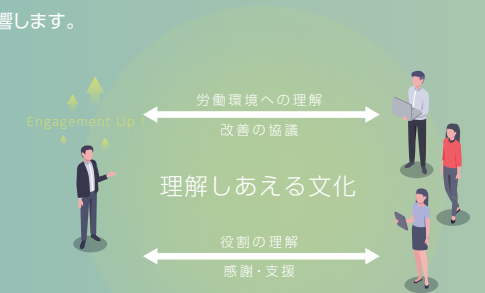
POINT
03

お互いの問題を理解しあう文化の創出

エンゲージメントを高め離職率を低下させる

近年、エンゲージメントを重要な概念と捉える企業が増えています。エンゲージメントが高まれば離職率の低下につながるだけでなく、企業価値を高め前述のウェルビーイングな企業ブランディングに大きく関与します。痛みの解消によるモチベーションの向上はエンゲージメントに大きく影響します。

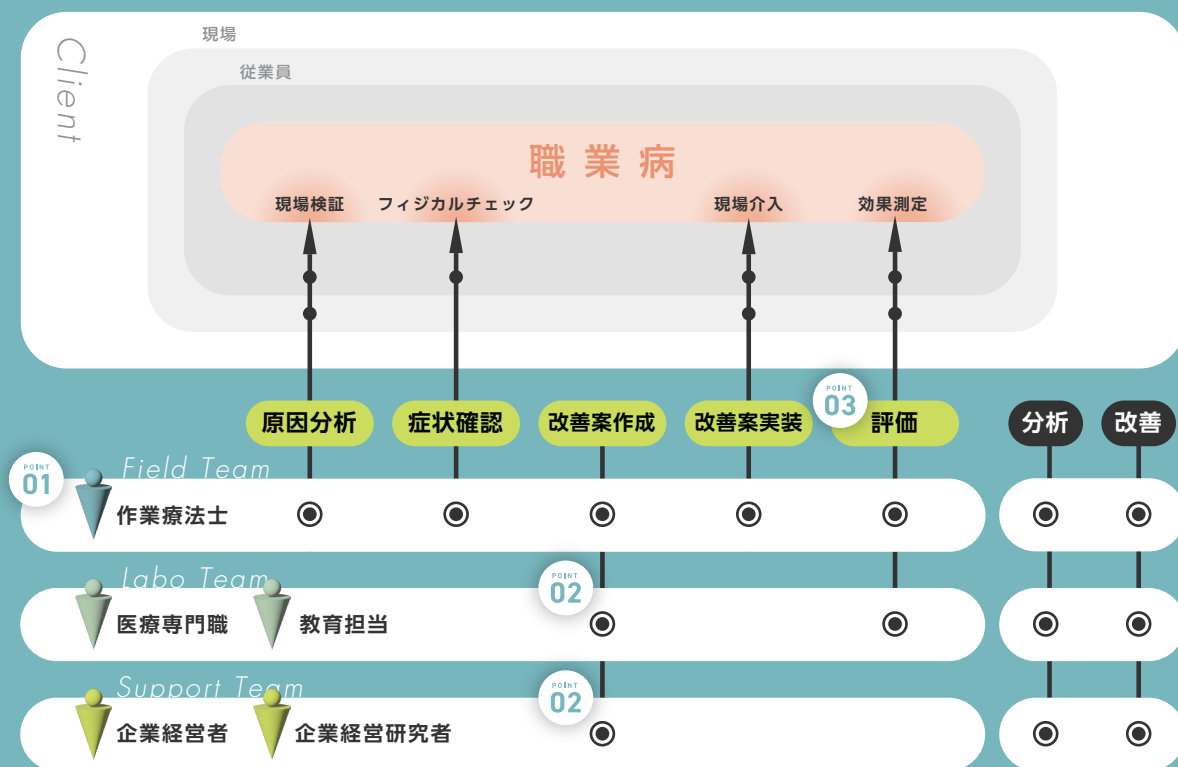
わたしたちは、エンゲージメント向上のためにプログラムの中でワークショップを実施しています。ワークショップの目的は「お互いの痛みを理解する」ことと、そこから発展した「お互いの問題を理解しあう文化の創出」です。理解を深めることはお互いの役割を尊重することにつながります。企業の中で必要とされているという感覚がつよくなることでエンゲージメントは高まります。



Scheme

チームビルディングによる 職業病へのアプローチ

Canvasの健康経営サポートの最大の特徴は、作業や仕事の専門家「作業療法士」による現場の検証と実践、検証データを分析する研究分野における専門家、実際に健康経営を実践する法人の担当者、健康経営を研究する研究家といったメンバーによる国内外のスペシャリストで構築されるチームです。現在でも自社のデータを用いて国際研究を行いエビデンスを構築しています。



※各ポイントの詳細は7ページへ→

Field Team Leader



作業療法士
藤井 寛幸
Hirokyu Fuji

- しまねリハビリテーションネットワーク
(旧島根県リハビリテーション専門職協議会) 副会長・職能推進局長(2023～)
- 松江市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進ワーキング
「地域包括ケアシステム推進部会」委員(2021～)

島根県松江市出身。作業療法士免許を取得後、5年間病院で幅広い疾患領域の臨床業務に従事。その後、一般企業に入社し、在宅部門のリハビリテーションサービスを開発。さらに、地域自治組織や行政、企業との連携による地域部門の展開にも取り組んできた。また、企業で働く従業員の健康に関する課題にも直面し、企業と連携して健康経営支援を構築した。現在は株式会社Canvasの共同代表として建設業、福祉業、運送業、オフィスワーカーなど、様々な業種に対して職業病の分析・解消を目指す健康経営支援サービスを提供している。健康経営事業「しあえる」が松江市が主催する「MIX」のPoC(事業開発・検証サポート事業)に採択され、産業界、官公庁、学術機関、金融機関との連携を通じてサービス提供体制を構築しつつ、全国に拡大するために大阪、仙台、鹿児島、栃木など全国各地にフランチャイズ展開を行い、地域に合った健康経営の形を共創している。

株式会社さきこり様(林業)と共同で実践した健康経営事例は「財政健全化のための健康経営プロジェクト 健康経営大賞2022」で最優秀賞を受賞。また、厚生労働省 島根労働局が運営するSafe(セーフ)協議会にて「しあえる」サービスが衛生管理事例として推薦される。

Labo Team

様々なバックグラウンドを持った研究者が
企業の現場データを医療、産業衛生、ヘルスケアの観点から分析

企業と研究チームが直結していることにより、スピード感を持って顧客への介入効果を向上させるだけでなく、データベース化して蓄積することで、アプローチの最適化と開発した分析ツールの改善に利用します。

Labo Team Leader



博士(医学)
認定作業療法士
元廣 惇
Atsushi Motohiro

- 博士(医学) ○認定作業療法士(日本作業療法士協会認定) ○国家資格キャリアコンサルタント
- 国立大学法人島根大学 研究・学術情報本部 地域包括ケア教育研究センターCoHRE客員研究員
- (協組)山陰キャリア開発 理事 ○(一社)日本作業療法士協会 地域社会振興部員
- (一社)日本作業療法士協会学術誌「作業療法」査読委員 ○国内外複数大学非常勤講師

作業療法士免許を取得後、超急性期～生活期病院にて幅広い疾患領域に対する臨床業務に7年間従事する。その間、研究会の県代表、学術団体立ち上げ、全国での講師活動等の指導的立場を経験する。28歳で養成校作業療法学科専任教員に就任し、在籍教員最年少30歳で学科長の任命を受ける。教育マネジメント全般、広報渉外、新設大学設置審及び、行政、銀行、大学などの各機関との産官学連携(産業ブランディング・ヘルスツーリズムなど)のプロジェクトマネジメントを複数経験する。

研究歴として、島根大学大学院修士課程(神経内科学講座)、博士課程(地域教育学講座)での心理学研究や教育研究を経て、現在は島根大学CoHRE客員研究員としてルンド大学(スウェーデン)等の研究者と連携しながらGIS(Geographic Information System:地理情報システム)を用いた公衆衛生研究及び健康経営に関する実証研究や企業の健康投資の可視化に関する産業衛生研究に従事している。

主な受賞歴・採択歴として伝統産品とリハビリテーションの価値を掛け合わせた産業再生プロトタイプ開発プロジェクト(地域創生加速化交付金対象事業)による「Tokyo Design Week Award 2016」「日本学術振興会科学研究費補助金」などがある。

博士課程在学中に創業した株式会社Canvasでは代表取締役を務め、経営・オペレーションマネジメント・財務管理・広報渉外・全国の法人、個人のコンサルティングに加えて、健康経営支援事業(島根発ヘルスケアビジネス事業化補助採択)、地域課題解決型事業、専門職教育事業、研究開発事業、製品開発事業などの各プロダクトに関するR&D全体の統括を行なっている。学術論文・学会発表・講演等多数。(2023年4月現在)

Member



安部 孝文
島根大学
地域包括ケア教育研究センター



奥山 健太
Lund University
公衆衛生学・疫学



白土 大成
鹿児島大学
理学療法士



由利 拓真
京都橘大学
作業療法士



爲國 友梨香
九州大学附属病院
作業療法士



高木 雅之
県立広島大学
作業療法士

POINT
01

「動作評価のプロ」作業療法士による介入

職業病を正しく評価することで効果ある改善を行います。

作業療法士は、日常生活や仕事で直面するさまざまな問題を評価し、適切な介入策を提案し実行する専門家です。職業病の原因分析から現場での介入、そしてその効果の測定まで、作業療法士が全ての段階で評価を行うことで、より効果的な改善の提案を行います。

POINT
02

現場で実現可能かつ 効果に期待できるプランニング

経営と組織開発の視点も取り入れ、
無理なく持続可能な実施策を策定します。

どんなに優れたアプローチであっても、現場での実施に無理があればその効果は発揮されません。弊社の健康経営を実際に導入している企業の経営者の視点と、経営に関連するさまざまな問題や課題に対する深い理解を持つ研究者の視点から、プランを再評価し、実施可能で持続的な計画へと調整します。

POINT
03

介入効果を見える化により積極性を促進

独自の分析ツールにより現状と介入効果を見える化します。

弊社が開発した分析ツールを使用して以下の4つの項目を数値化します。このツールは介入の効果だけでなく、現在の従業員がどのような不安や問題を抱えているのか、またどの部分が生産性を低下させているのかを明示します。これにより、従業員や管理者の目的や目標を明確にし、その積極性を促進します。

- 健康状態 … 健康への不安や問題に関しての申告件数
- 労働損失額 … 上記不調による損失額（金額）
- 業務効率の数値化（仕事量） … 10段階評価による効率毎の比率
- モチベーションの数値化 … 各項目の5点満点における評価（活力／熱量／没頭）



Product Manager



理学療法士
スポーツトレーナー

小村 康平

Kohei Omura

- 運動器認定理学療法士（日本理学療法士協会認定）
- スポーツ理学療法認定理学療法士（日本理学療法士協会認定）
- 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPQ-AT）
- 全米スポーツ医学アカデミー公認パフォーマンスエンハンスメントスペシャリスト（NASM-PES）
- 島根県ソフトテニス連盟 理事 兼 トレーナー部会長
- 島根県アスレティックトレーナー協議会 教育部副部長

理学療法士免許を取得後、整形外科クリニックで約5年間、運動器・スポーツ疾患領域の臨床業務に従事する。2019年には、同医療法人が東京都に新規開院した医院へ出向し、リハビリ部門の新規開院支援を行う。院外では、アスレティックトレーナーとして全国大会、インターハイ、国体に帯同し、県内の現職者として最年少で日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの養成講習会へ推薦される。

医療機関や院外でのトレーナー現場での活動を通じて、ケガをする前に予防することの重要性を感じ、リハビリテーション専門職らと連携し、腰痛・ひざ痛などの予防事業に参画する。顧客企業との健康経営の実践では、自社で運営するジムを活用した新たな形の健康経営にも取り組んでおり、この事例は健康経営支援に関わる産業分野のアスレティックトレーナーとしては全国的にも稀な取り組みとして山陰のメディアに取り上げられる。

株式会社きこり様

本社所在地: 島根県雲南市木次町

業務内容: 樹木伐採・特殊伐採、除草・造園・剪定、産業廃棄物収集・運搬



法人会「健康経営大賞2022」受賞

全国組織の「法人会」のプロジェクトにおいて、株式会社きこり様における健康経営が「部会員企業部門」で最優秀賞を受賞しました。



影響

腰痛、背中のハリ

原因

関節の可動域制限

対応策

始業前、業務中にできる業種特化型のセルフストレッチの開発

個々のスマホでいつでも閲覧できるように林業の業務に特化した内容の映像にして配布

実際の効果

《従業員の健康維持》

ストレッチ、セルフケア導入による
腰痛、首や肩の不調の改善

《生産性向上・労働損失の削減》

230.3万円

《エンゲージメント向上》

体の不調を相談できる環境の形成
痛みの理解によるお互いが思いやる文化の醸成

《企業価値の向上》

《売上アップ》

前年比 120%

健康経営の導入を SNS やウェブサイトで発信することで多くの人にリーチ。

企業への信頼度が上がった結果、受注案件が30件超増加。

《就職説明会の動員が大幅にアップ》

キツくて危険なイメージが先行し、担い手不足が問題になっている林業ではめずらしいことです。

原因分析

現場介入

検証・報告



現場分析

仕事内容を現地で評価しに伺います。職員から実際に職業病についてヒアリングを行い、どの仕事内容が負担がかかっているのか、その原因を現場で突き止めます。



ワークショップの実施

お互いの問題を理解し、
気遣いあえる職場環境へ

ワークショップの目的は「お互いの痛みを理解する」ことと、そこから発展した「お互いの問題を理解しあう文化の創出」です。理解を深めることはお互いの役割を尊重することにつながります。企業の中で必要とされているという感覚がよくなることでエンゲージメントは高まります。



回避できた労働損失額の算出

介入によって、健康課題の解決がどの程度進んだのかを回避できた労働損失額などの具体的な数値により可視化し、提示します。

アンケート、労働損失額の可視化

職員の健康課題をアンケート調査により可視化します。また、健康課題によるパフォーマンス低下についても可視化し、労働損失額として表現します。

姿勢・動作指導

仕事効率を上げるために、身体への負担を軽減するための適切な姿勢や動作を指導します。生産性を高め、効率的に働くことができるように支援します。

体操の指導

職業病を解消するために、分析結果に基づき職員に対してセルフケアの指導を行います。その際に、大学機関や研究者と連携し、仕事内容や従業員の症状に適した内容を指導していきます。

フィジカルチェック

実際に職員の方の身体(フィジカル)を評価し、症状の程度や部位を特定します。そして、仕事内容と症状を正確に特定していきます。

個別介入

痛みにより休職せざるを得なくなった方に対して、自宅や職場に訪問し、復帰に向けた指導を行います。病院と連携し、早期の復帰に向けサポートします。復帰後も、パフォーマンスを維持できるようにフォローアップを行います。



企業カルテの提出

分析結果やワークショップでの議論内容、提供したソリューション、そして行った介入の結果をまとめ、今後の衛生管理の指針についてまとめた企業カルテを提出します。

アフターフォロー案の提示

職場全体にウェルネス行動が定着し、持続的な健康経営が行っていただけるよう、今後の衛生管理の指針案を提示します。

Work flow